

令和2年度 第2回 学校運営協議会 議事録

校名	府立富田林高等学校 府立富田林中学校
校長名	高等学校長 栗山 悟 中学校長 大門 和喜

開催日時	令和2年11月27日(金) 15:00 ~ 17:10
開催場所	府立富田林中学校・高等学校 岸本記念館アゴラ
出席者(委員)	津田会長、森田副会長、大谷副会長、金銅委員、笠原委員*、易委員、□* オンライン出席)
出席者(学校)	栗山高校校長、大門中学校長、市口高校教頭、岡本中学教頭、松井事務部長、他 事務局員
傍聴者	
協議資料	フリースクール「トゥルーカラーズ」に関する連携協定 大阪府立富田林中学校・高等学校 学校運営協議会 実施要項(改正版)
備考	

議題等(次第順)	
<p>・報告</p> <p>中高一貫1期生(高1)の現状 及び 高みをめざす指導・フォローアップのための指導等【中高】 探究活動に係る社会協働の進捗状況【中高】 スマートスクール・ギガスクール事業【中学】 制服検討に係る進捗状況【中学】 あいさつ運動【中学】</p> <p>・報告に関する意見交流</p> <p>・本協議会による学校との協働と今後の在り方</p> <p>・フリースクール(「NPO法人まなそだネット」運営)と学校との連携</p> <p>・学校運営協議会実施要項の改正</p>	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>○報告に関して</p> <p>□中高一貫1期生(高1)の現状 及び 高みをめざす指導・フォローアップのための指導等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中進生の保護者の要望(前校長が示した「京阪神大に30人合格できる学校づくり」)に対しては、中高の教員が自分の問題として考え、答えを出そうとする姿勢を持たないといけない。 ・保護者の要望を受け止め、教科を中心に説明会を開いたことはよかった。大学に通るだけが目標ではなく、さらに将来を見据えて、生徒たちの実態を見ながら、プランの修正をしていただきたい。 ・カリキュラム・マネジメントを推進して6年間の学びの配列表を作成することで、教員の目標が一致し、保護者に対しても説得力を持つようになる。 <p>□探究活動に係る社会協働の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が企業と繋がって学ぶという形(企業訪問や企業からの課題提供)であるが、子どもたちが受け身になっている。 ・中高一貫の利点を生かして、先輩たちが後輩たちへアウトプットする機会が増えればよい。 <p>○本協議会による学校との協働と今後の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究活動などで企業が学校に来る日程などを教えてもらえれば、本協議会の委員が子どもたちの学びの様子を見ることができる。 <p>○フリースクール(「NPO法人まなそだネット」運営)と学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出欠に関する事、成績に関する事、考査監督の委嘱等について、教育庁に確認を取ったうえで、フリースクールと連携協定を結びたい。 <p>→ 承認</p>	
次回の会議日程	
日時	令和3年2月19日(金) 15:00~
会場	府立富田林中学校・高等学校 岸本記念館